

Car Camcorder User's Manual

Copyright © 2014 Mobilnet Co.,Ltd. JP

ごあいさつ:

製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
設計・開発に時間と労力を惜まず、最先端技術を搭載したこのドライブレコーダーは、多くのお客様にご満足、ご愛用いただけると強く信じております。

重要なお知らせ

1. 製品を落としたり分解したりしないでください。
正しい方法以外でのご使用は製品の保証を受けることが出来ません。
2. 雨や水などを避けてください。また、濡れた手で操作はしないでください。
3. 強く押ししたり、衝撃を与えないよう注意してご使用ください。
4. 安全の為、落雷などの際はご使用しないでください。
5. 製造業者が供給するアクセサリーをご使用ください。
6. 小さな子供の手の届かない場所で保管してください。
7. 車から離れる際は直射日光のあたる場所や、ダッシュボードの上に放置しないでください
8. この製品は走行中などの記録を補助する目的で作られています。
運転中の操作はしないでください。
9. バッテリーは製品と一体化となっております。
サービスセンター以外での交換はしないでください。
10. 詳細については公式ウェブサイトをご確認ください。
official website. (<http://www.aiptek.tw/download.php>)

FCC コンプライアンスステートメント:

この機器は、FCC規則Part15に準拠しています。動作は、次の2つの条件を対象とする。

1. このデバイスが有害な干渉を起こさない。
2. このデバイスには、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含めて、受け取ったすべての干渉を受け入れなければなりません。



本機は、FCC 規則パート 15 に従って、クラス B デジタル機器の制限に準拠するよう試験が行われ、認められました。これらの制限は、住宅用設置物に有害な妨害に対し合理的に保護するよう設計されています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、および放射します。

また、取扱説明書に従わずに取り付けて使用した場合、無線通信に有害な妨害が発生することがあります。しかし、特別な設置で妨害が起こらないという保証はありません。

本機は、ラジオまたはテレビに有害な受信妨害を発生させます。これは本機の電源をオフ / オンにすることで判断できます。

次の対策を行うことで妨害の修正を試みることをお勧めします。

- ・受信アンテナの向きまたは場所を変える
- ・本機とレシーバーの間をさらに離す
- ・レシーバーが接続されている回路の電源とは別の回路に本機を接続する。
- ・技術支援を受けるには、経験を積んだ無線またはテレビ技術者にご相談ください。

FCC の注意コンプライアンス責任のある当事者が明示的に承認していないなんらかの変更を行った場合、本機を操作するためのユーザー権限が無効になります。

製品を廃棄する必要がある際は、可能な限りリサイクルにご協力ください。



機器やバッテリーは家庭ごみとして廃棄できません。

該当する引き取り業者に依頼する必要があります。

本機またはバッテリーのリサイクルの詳細情報については、市区町村役場、本機を購入した販売店、またはお近くの家庭ごみ廃棄サービスにお問い合わせください。

材料のリサイクルは、天然資源の保護を助け、人間の健康および環境を守る方法で確実にリサイクルされます。



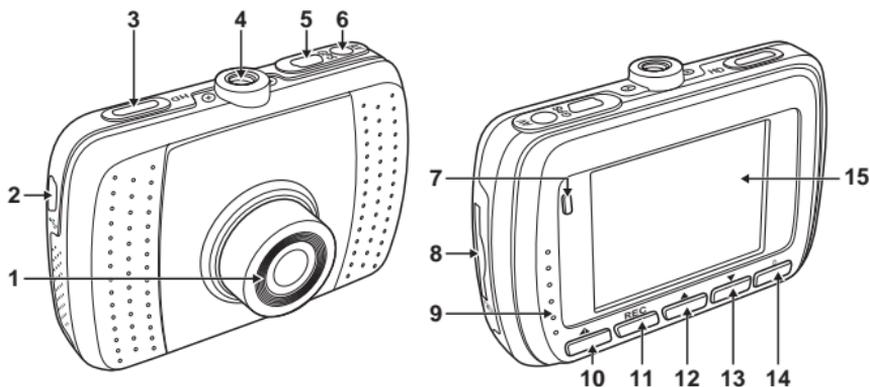
はじめに

最先端技術が搭載されたドライブレコーダーをお買い上げ頂きありがとうございます。本機器は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように特別設計が施されています

特長

- FULL HD 1080P(1920 x 1080) @ 30fps video resolution
- HD 720P (1280x720)@ 30 fps
- ワイドアングルレンズ 120°
- 便利なタッチキー操作
- 最大 32GB の SD をサポート
HDMIとAVインターフェースを経由してテレビ再生をサポートしています

製品の概要

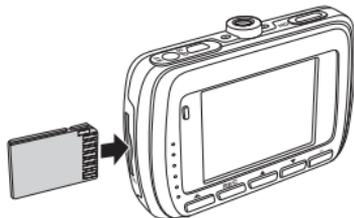


- | | | |
|-------------------------|--|----------------|
| 1. レンズ | 2. Mini USB ポート(電源) | 3. HDMI ポート |
| 4. ブラケットホルダー | 5. GPS ポート | 6. AV 出力 |
| 7. LED インジケター | 8. SD カードスロット | 9. マイク |
| 10. 緊急録画開始
/終了ボタン(▲) | 11. 録画/エンター/Stop
音声録音 (On/Off)
(REC) | 12. 上ボタン (▲) |
| 13. 下ボタン (▼) | 14. 電源ボタン (⏻) | 15. LCD ディスプレイ |

入門編

メモ리카ードの挿入

メモ리카ードを挿入します。
この時、ゴールドの接触点が本機の背面に面するようにします。カチッと音がして所定の位置に収まるまでメモ리카ードを押し込みます。



メモ리카ードの取り外し

一度カードを奥まで押し込むとスロットから取り出せます。

ご注意：本機の電源がオンになっている時は、メモ리카ードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、メモ리카ードが損傷することがあります。

SD カードについて

- 4GB, Class6 以上の SD カードを使用してください (最大32GB)
- メモリーカードは必ず本機ドライブレコーダー専用としてご使用ください。
- はじめて利用する前に本機レコーダーでSDカードをフォーマットしてください。
- ビデオストレージの容量は以下を参考にしてください。
メモ: 実際の利用可能時間は被写体の明るさや色合いなどの環境により異なります。
(最大30%程度の誤差が生じますので、目安としてください)

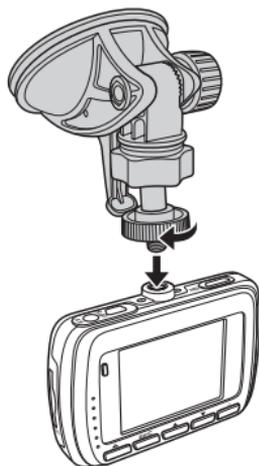
SD カード	ビデオ解像度	
	1080P/30fps	720p/30fps
8GB	100 分	180 分
16GB	200 分	360 分
32GB	400 分	720 分

- メモリーカードの書き込み防止プロテクターが解除されている事を確認してください。
- はじめて利用される前にフォーマットをする必要があります。
- メモリーカードの種類によっては認識されなかったりエラーになる場合がございます。このような場合は、抜き差しをしてみたり、他のカードに替えて試してください。
- メモリーカードを上書きする際はバックアップを取ることをお勧めします。

フロントガラスへの取り付け

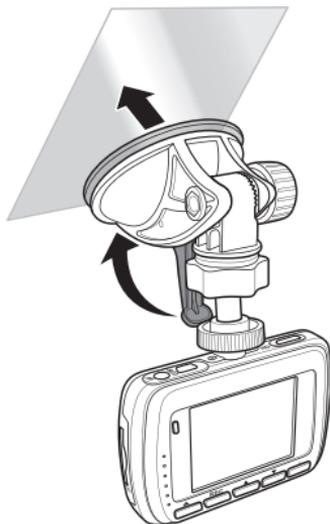
下記の要領でしっかりとフロントガラスに設置してください

1. 本機をブラケットの土台に取り付けます。カーホルダーとブラケットの土台を回して締め、本機が完全に所定の位置にロックされていることを確認します。



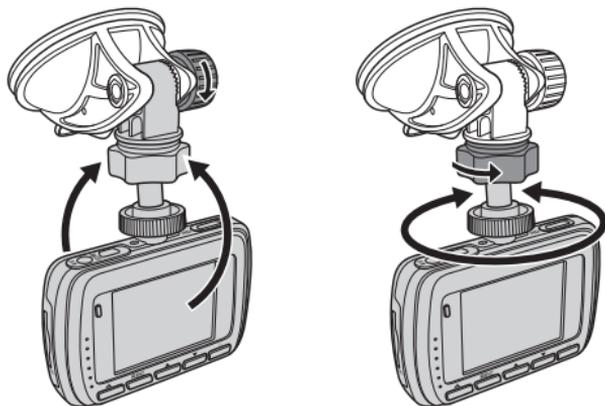
2. 吸盤カップをフロントガラス強く押し当て、その状態を保持してください。

3. 吸盤をフロントガラスにしっかり押し当てた状態で、クランプを倒して、カーホルダーをフロントガラスに固定します。土台が所定の位置にロックされていることを確認します。



4. 機器の位置調整

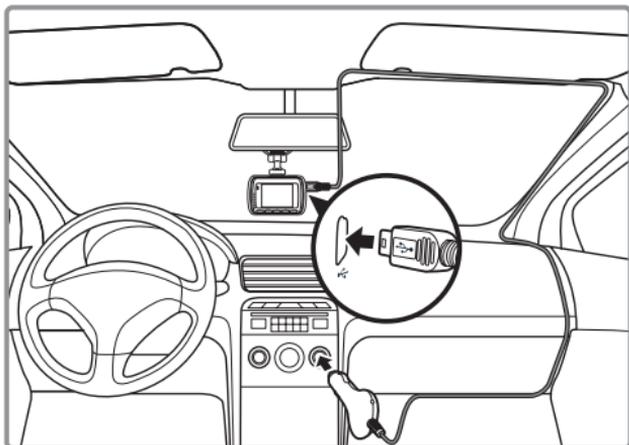
ノブを回して垂直または水平方向(360度)にデバイスを動かすことができます。所定の位置にあわせ、ノブを締めてしっかり固定されていることを確認します。



電源への接続

必ず付属のカーアダプターを使用してください。
はじめに本機器の内蔵バッテリーを十分に充電してください。

1. カーアダプターを本機のミニUSBコネクタに接続します。
2. 車両のシガーソケットに差込みます。



自動電源オン/オフ

車両のエンジンが始動すると、本機は自動で電源が入ります。
自動録音機能(6ページを参照)が有効になっている場合、電源投入後、録画が自動的に開始されます。

車両のエンジンを停止すると、デバイスは自動的に録画を保存し、電源をオフにします。

手動電源オン/オフ

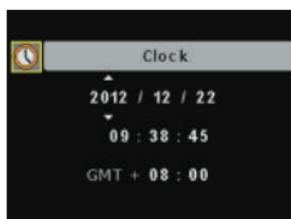
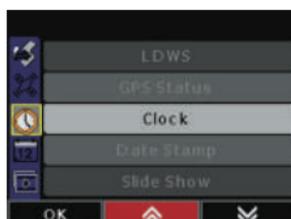
- 電源ボタンを押します。⏻
- 電源を切るには2秒以上⏻ボタンを押します

設定の最初に「Language」メニューで「日本語」を選択してください。
この説明書の画像のメニュー表示は英語で記載しております。

時計/タイムゾーンの設定

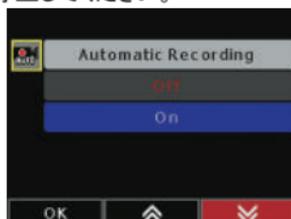
GPS受信機 (オプション) を取り付けている場合グリニッジ標準時間と同期できます。
日時をグリニッジの標準時間に設定し(日本時間ではありません)、GMTは+09:00(日本)と設定してください。
間違ったタイムゾーンで設定してしまうとビデオクリップにも表示されてしまいます。
同期しない場合はそのまま現在時刻を設定し、GMTは00:00にしてください。

1. 何かボタンを押すと画面下にガイドアイコンが表示されます。
2. 録画が開始されている場合は **REC** ボタンで録画を停止してください。
3. ▼ボタン( アイコン)で設定メニューに入ります。
4. ▲/▼で時計を選択し **REC** ボタンで時計設定を表示します。
5. **REC** ボタンで設定項目を移動します。
6. ▲/▼ で値を調整します。
7. 5-6を繰り返して全ての項目を調整します。
8. ▲ で保存して設定メニューに戻ります。



自動録画の設定

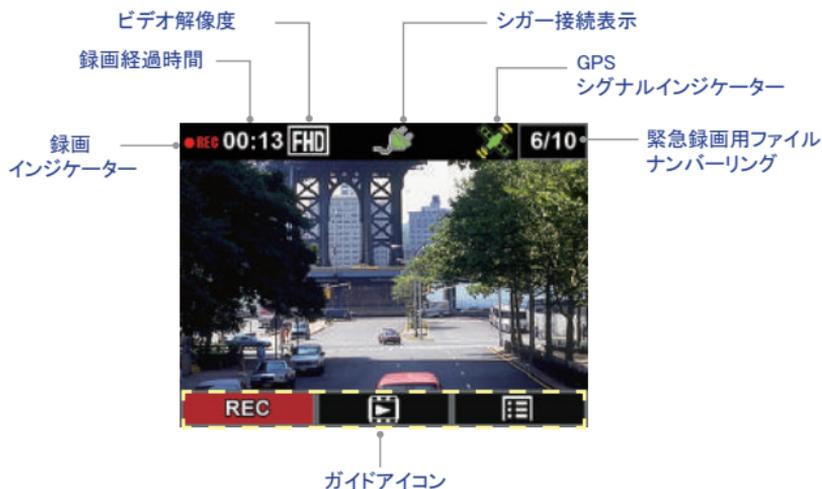
1. 何かボタンを押すと画面下にガイドアイコンが表示されます。
2. 録画可開始されている場合は **REC** ボタンで録画を停止してください。
3. ▼ボタン( アイコン)で設定メニューに入ります。
4. ▲/▼で自動録画を選択し **REC** ボタンで自動録画設定に入ります。
5. オン/オフを選択し、OKで戻ります



録画の方法について

通常録画

車両のエンジンが起動すると、デバイスは自動的にオンになります。
RECを2回押して、録音を開始します。



エンジンを停止すると録画が自動的に停止します。
または、**REC**を二回押して手動で録画を停止します。

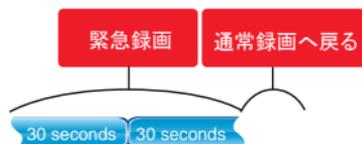
ノート:

- ・自動録画機能が有効になっている場合、電源がオンで記録を開始します。
- ・ビデオファイルの記録は、5分ごとに保存されます。
- ・ストレージが一杯になると、メモリーカード内の古いファイルから上書きされます。

緊急録画

緊急録画(▲)ボタンを押したりセンサーが衝撃を検知した時に、その前後30秒間を別ファイルとして記録します。

この緊急録画ファイルデータは **Emergency Record** フォルダに別に格納され、通常録画で上書きされることはありません。



通常録画サイクル

緊急事態や事故が発生した時、直ぐに(▲)キーを押して下さい。

緊急録画が開始されると ▲ アイコンがスクリーンに表示されます。



緊急録画を停止したい時は **REC** ボタンを押すと停止し、データが保存されます。



ご注意：

- データを保存中 (🔋 アイコンが表示される) は電源を切らないでください。データが破損したり、保存されない場合があります。
- データ保存が完了するまで他の操作はしないでください。
- 緊急の時に必ず衝撃センサーが働いているとは限りません。また、通常録画でも記録がされていますが、後で必要となったときに上書きされていることもありますので、緊急時は(▲)ボタンを押して録画することをお勧めします。

ビデオの再生

1. 何かキーを押してガイドアイコンを表示してください。
録画が開始されている場合は **REC** キーで停止するとガイドアイコンが表示されます。

2. ▲キーで再生メニューが表示されます。
3. ▲/▼で Last Record か Emergency Record を選んで **REC** キーで選択します。



4. ▲/▼で表示されているイメージを選んでください。



Last Record



Emergency Record

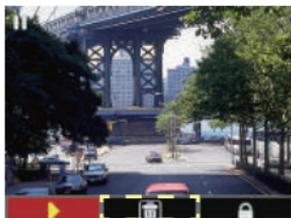
5. **REC** キーで再生されます。



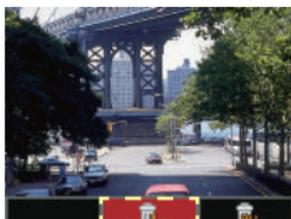
- 再生中は **REC** キーで、一時停止・再生が出来ます。
 - ▲/▼で早送り/巻き戻しが出来ます。
6. ▲ ボタンで再生を停止します。

ビデオの消去

1. ビデオ再生メニューで消去したいファイルを選択して **REC** キーで再生します。
2. もう一度 **REC** キーで再生を停止します。
3. ▲を押してごみ箱アイコンを点灯させます。



4. もう一度▲を押すと消去されます。



ビデオファイルの全消去

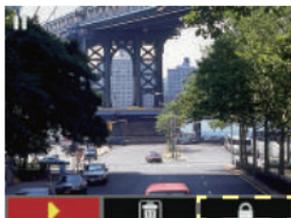
1. ビデオ再生メニューでいずれかのファイルを選択して再生します。
2. **REC** キーで再生を停止します。
3. ▲を押してごみ箱アイコンを点灯させます。
4. ▼キーでALL消去を選択します。
5. スクリーンにメッセージが表示されますので **Yes** を選択して全消去します。



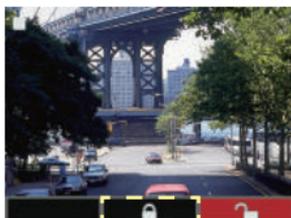
ビデオの保護

上書きしたくないファイルをロックします。

1. 保護したいファイルを選択して再生します
2. **REC** キーで再生を停止します。
3. ▼で鍵アイコンを選択します。



4. ▲で選択したファイルをロックします。

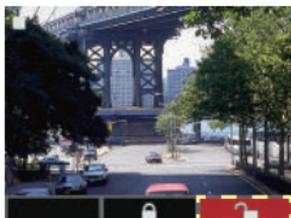


ロックされているファイルには🔒アイコンが表示されます。

ロックの解除

1. ロックされているファイルを選択して再生します。
2. **REC** キーで再生を停止します。
3. ▼で鍵アイコンを選択します。
4. ▼でロックを解除します。

ロックが解除されたファイルは🔓アイコンの表示が消えます。

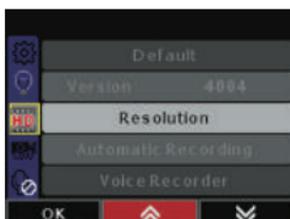


設定メニューについて

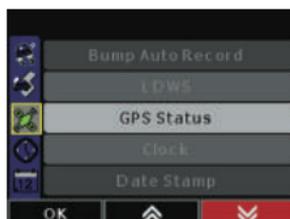
メニューの操作方法

設定メニューから再生・録画、その他の機器設定をカスタマイズします。

1. 何れかのキーを押してスクリーンにガイドアイコンを表示します。
2. 録画中の際は **REC**キーで録画を停止しディスプレイメニューを表示します。
3. ▼キー( アイコン)で設定メニューに入ります。
4. ▲/▼で選択、**REC**キーで詳細設定に入ります。



Page 1/4



Page 2/4



Page 3/4



Page 4/4

5. ▲/▼で詳細項目の選択、**REC**キーで決定します。
6. ▲ ボタンで設定メニューを終了します。

設定メニュー構成

メニュー項目およびオプションの詳細については、以下を参照してください。

メニュー項目	説明と選択可能なオプション
解像度	録画ビデオ解像度を設定します。 選択項目: 1080P/30FPS / 720P/30FPS
自動記録	電源投入後、自動で録画を開始します。 選択項目: オン / オフ
ボイスレコーダー	録画の際の音声録音を設定します。 選択項目: オン / オフ
自動記録をパンプ (衝撃検知記録)	Gセンサーの感度レベルを指定するか、無効にします。 この機能が有効で任意の衝突が検出された際に、 デバイスは自動的に緊急録画を開始します。 選択項目: オフ / 高感度 / 低感度
スマート駐車 モニタリング	エンジンの停止後、本機のバッテリー残量の範囲で録画を 開始します。 選択項目: オン / オフ
LDWS (17ページ参照)	LDWS(車線逸脱警告システム)機能を有効/無効にします。 時速60km以上で走行車線から外れると警告します。 選択項目: オン / オフ (GPS受信機オプション)
FCWS (18ページ参照)	FCWS(前方衝突警告システム)を有効/無効にします。 時速60km以上で不適切な車間距離を検出すると警告します。 選択項目: オン / オフ (GPS受信機オプション)
GPS 状態	GPS信号の状態を表示します。
時刻	時計・日付を設定します。
日付記録	映像に日付と時刻を表示して記録します。 選択項目: オン / オフ
スライドショー	ビデオの自動再生(スライドショー)を有効/無効にします。 選択項目: オン / オフ

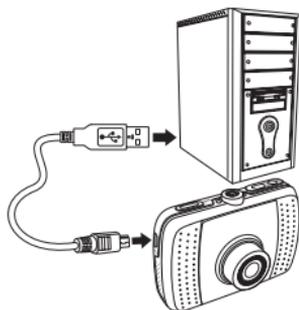
メニュー項目	説明と選択可能なオプション
音量	音量レベルを調整します。 選択項目: オフ / 20% / 40% / 60% / 80% / 100%
監視モード	レンズ前の被写体に60秒間変化が無い場合、自動で省電力モード(ディスプレイやLEDは消灯)に変わり、内部では毎秒1fpsで録画を開始します。 被写体に変化があると、通常の30fpsの記録が再開され、これを繰り返します。 この機能がオンのとき、手動緊急録画は使用不可。 選択項目: オン / オフ
モーション検知	レンズ前の被写体の動きを検出すると、自動で録画が開始されます。 エンジン停止後も、モーション検知モードとなります。 選択項目: オン / オフ ※この機能を有効にしていると通常の走行中などは常に被写体の動きが検出されていると認識する為LCD自動オフの機能は働きません。
EV値	明るさ露出補正値を調整します。 選択項目: -2 / -1.5 / -1 / -0.5 / 0 / 0.5 / 1 / 1.5 / 2
言語	ディスプレイメニューの言語を設定します。
フォーマット	メモリーカードをフォーマットします。 選択項目: キャンセル / 確認 ※注意 すべてのファイルが消えてしまいます。
TV システム	TV再生の方式を選択します。 日本は一般的に「NTSC」です。
LCD自動オフ	録画開始後にディスプレイをオフにする時間を設定します。 選択項目: 30 sec. / 3 分. / 5 分. / 常にオン モーション検知がオンの時は、この設定は無視されます。
デフォルト	工場出荷時の設定にリセットします。 選択項目: キャンセル / 確認
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。

他の機器との接続について

PC接続

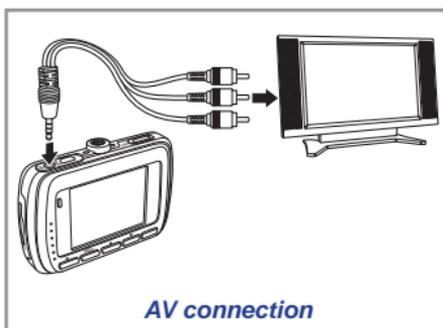
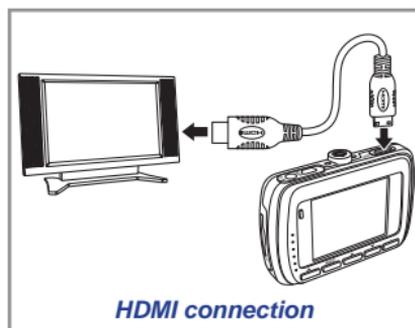
PCやノートブックと接続しメモリーカード内のファイルをPCで表示したり転送出来ます。

1. 本機のミニUSBポートにケーブルを接続します。
2. PCのUSBポートにケーブルを接続します。
3. PCとの接続が確立されると「リムーバブルディスク」のアイコンがマイコンピュータに表示されます。メモリーカード内のファイルにアクセスするには、このアイコンをクリックします。
4. PCの任意のフォルダへファイルをコピーできます。



TVとの接続

HDMIケーブルやAVケーブルを使ってテレビで映像を再生することができます。



1. 本機のHDMIポートとTVのHDMI端子をケーブルで接続します。
※:AV接続の際は、本機のAVポートとTVのAV端子をケーブルで接続します。
2. TVの電源を入れて、「HDMI」または「AV」に、TVのソースを切り替えます。
3. 本機の電源を入れてください。
4. ビデオ再生の操作を行ってください。

付録

パッケージの内容 (オプションの紹介)



カーレコーダー



カーチャージャー



USB ケーブル



吸盤ブラケット
(X5用同梱)



接着用ブラケット
(オプション)



AV ケーブル
(オプション)



HDMI ケーブル
(オプション)



G-マウス ブラケット
(X5G用同梱)



クイックスタートガイド



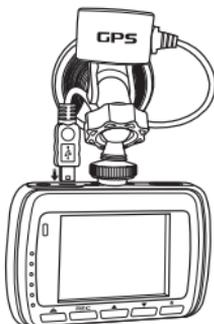
AC アダプター
(オプション)

* 単体の購入も可能です。

GPS機能の使用

GPS機能により、このドライブレコーダーはGPS位置を取得し、ビデオファイルと一緒に位置情報ファイルを記録します。

ドライブレコーダー上のGPSポートにG-マウスブラケットを接続します。



←GPSユニットと吸盤固定のクランプが一体となった可倒式ブラケットです。

デバイスは自動的に衛星信号を検索し、GPS信号をキャッチした時にGPS信号インジケータ(📶)がディスプレイに点灯します。

※はじめにGPS信号を正確に取得するため、雲の少ないクリアな視界がある場所へ移動してください。

G-マウスの機能

LDWS&FCWS機能を使用するには、G-マウスを接続する必要があります。

- 車線逸脱警告システム (LDWS) :
Lane Departure Warning Systems

車速が60キロ以上に達したとき、車両がその道路の車線の外に移動したことを図1に示すような画像と音でドライバーに警告します。

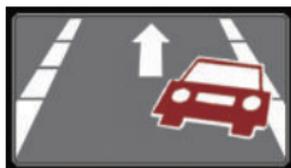


図1

メニューでLDWSをオンに設定した際は、録画開始時に、図2に示すように赤いラインを地平線と一致するように、白いラインを左右の走行車線内に収まるよう、ドライブレコーダーの角度を調整して下さい。



図2

■ 前方衝突警報システム(FCWS) :

Forward Collision Warning System

車速が60キロ以上に達した時
前方の車両との距離が5~7メートル以内
になると、警告音が鳴り図3のような警告
画面がモニターに表示されます。



図3

メニューでFCWSをオンに設定した際は、
録画開始時に、図4に示すように赤いラインが
地平線と一致するようにドライブレコーダーの
角度を調整してください。



図4

免責事項:

車線逸脱警報システム(LDWS)、および前方衝突警報システム(FCWS)は、
運転の支援システムですが、実際の運転は走行環境やドライバー自身の安全確認と
判断に要因されます。このドライブレコーダーが持つ全ての機能に関して、安全を
保証するシステムではございません。

注意:

- 1.最高のパフォーマンスを発揮するためには、フロントガラスの中央上部の位置
に製品を設置してください。
- 2.実際の運転はドライバー自身のブレーキ操作、ステアリング操作により車両を
制御することにより、衝突を回避する責任があります。

メディアプレーヤーソフトウェアのインストール

GPSログを確認するには、次の順序でソフトウェアをインストールしてください。

1. メモリカードを挿入し、デバイスを使用してフォーマットします。
12～14ページの「メニュー設定」を参照してください。
2. デバイスからメモリカードを取り出します。そして、コンピュータのメモリカードスロットまたは、カードリーダーを使用し、フォーマットしたメモリカードとPCの接続を確立してください。
3. 「リムーバブルディスク」のアイコンがマイコンピュータに表示されます。フォーマットが成功していると、専用プレーヤーのインストールファイル (Installation.exe) が表示されます。
4. ソフトウェアをインストールするには、Installation.exeをダブルクリックし、インストールを完了し、画面の指示に従います。

GPSログをレビュー



1. USBケーブルを使用してデバイスを直接接続または、メモリカードをPCのカードスロットに挿入してください。
2. メモリカード内の「100MEDIA」や「Emergency」フォルダ内のファイルを選択し再生してください。

※ご使用のPCの環境によっては、再生に必要なコーデックが不足している場合がございます。その際は必要なコーデックドライバーを別途インストールしてください。

仕様

アイテム	使用
イメージセンサー	3.1 Mega pixels CMOS(2304Hx1536V), 1/3-inch
映像解像度	FULL HD 1080P(1920x1080)@30fps HD 720P(1280x720)@30fps
ファイル形式	.MOV (AVC/H.264)
内部メモリー	128MB NAND Flash ファームウェアで利用
外部メモリー	SDHC Memory card (4GB~32GB),Class 6以上推奨
ディスプレイ	2.4-inch color LCD
レンズ	広角レンズ120度(対角)
絞り	F/#2.0
マイク	Yes
スピーカー	Yes
インターフェース	USB 2.0, HDMI/AV Output, SD slot, Microphone, Speaker
遅延電源オフ機構	Yes バッテリー残量に依存
タイムスタンプ保持時間	最大20日(バッテリー残量に依存)
ホワイトバランス	Auto
露光	Auto
自動録画	Yes
リサイクル録画	Yes
緊急録画	Yes
LCD 自動オフ	Yes
G-センサー	3 軸, 2~6G
GPS トラッキング	外部G-マウス
動作温度	0° C ~ 60° C
保存温度	-20° C ~ 60° C
寸法 (L x W x H)	94.9 x 62.3 x 21.7 mm

* デザインや仕様は予告なしに変更することがあります。